

## ROE521300MCU00 リリースノート ～ご使用前に必ずお読みください～

株式会社ルネサス ソリューションズ

本資料には本製品をご使用になる前に必要な情報が記載されております。製品ご使用の前に必ずお読みください。

### はじめに

ROE521300MCU00は、ルネサス16ビットMCU、R8Cファミリ R8C/3xシリーズ用のMCU Unitです。

### 製品概要

本製品は、以下の2種類の製品から構成されています。

(1) MCU Unit : ROE521300MCU00

R8Cファミリ R8C/3xシリーズ用MCU Unit(ボード製品)です。

(2) M16C R8C E100 エミュレータソフトウェア

CD-ROMで提供される付属ソフトウェアです。

・M16C R8C E100 エミュレータデバッグ

エミュレータ ROE521300MCU00 を制御するR8C E100 エミュレータ用のコントロールソフトウェアです。

### 最新情報を入手するには

以下のURLにホームページを開設しています。こちらでは、ツール製品に関する最新情報が掲載されていますのでご活用ください。また付属ソフトウェア製品(エミュレータデバッグ)の最新版もダウンロードできます。

<http://japan.renesas.com/tools>

### セットアップガイド

	<a href="#">こちらを参照ください</a>
1. 製品内容の確認	→本資料「梱包内容」
2. エミュレータデバッグのインストール	→本資料「付属ソフトウェア製品のインストール」
3. ユーザ登録	→ROE521300MCU00 ユーザーズマニュアル「ユーザ登録」
4. ハードウェアのセットアップと電源投入	→ROE521300MCU00 ユーザーズマニュアル「2. セットアップ」
5. High-performance Embedded Workshop およびエミュレータデバッグの起動	→ROE521300MCU00 ユーザーズマニュアル「3. チュートリアル」
6. 各製品の使用方法については	→ROE521300MCU00 ユーザーズマニュアル「5. デバッグ機能」

### 梱包内容

ご使用前に下記の製品がすべて揃っているかをご確認ください。

1	ROE521300MCU00	1台
2	ROE521300MCU00 リリースノート(日本語版【本紙】 / 英語版)	各1枚
3	修理依頼書(日本語版 / 英語版)	各1枚
4	付属ソフトウェアCD-ROM (M16C R8C E100エミュレータソフトウェア)	1枚

もし不足や不良がございましたら、お手数ですがすぐにご購入いただいた担当のルネサス エレクトロニクス販売株式会社又は特約店へお問い合わせください。また、梱包製品についてお付きの点がございましたら、最寄りのルネサス エレクトロニクス株式会社、株式会社ルネサス ソリューションズ、ルネサス エレクトロニクス販売株式会社または特約店へお問い合わせください。

### 付属ソフトウェア製品の動作環境

本製品に付属しているソフトウェア製品の動作環境を以下に示します。

(1) ホストマシン動作環境 (Windows® XP)

ホストマシン名	IBM PC/AT互換機
OS	Windows® XP 32ビット版 ※1 ※2
CPU	Pentium 4 1.6GHz以上を推奨
メモリ	1GB以上(ロードモジュールのファイルサイズの10倍以上)を推奨

(2) ホストマシン動作環境 (Windows Vista®, Windows® 7)

ホストマシン名	IBM PC/AT互換機
OS	Windows Vista® 32ビット版 ※1 ※3 Windows® 7 32ビット版/64ビット版 ※1
CPU	Pentium 4 3GHz または Core 2 Duo 1GHz以上を推奨
メモリ	2GB以上(ロードモジュールのファイルサイズの10倍以上)を推奨 (32ビット) 3GB以上(ロードモジュールのファイルサイズの10倍以上)を推奨 (64ビット)

※1 Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

※2 64ビット版のWindows® XPには対応していません。

※3 64ビット版のWindows Vista®には対応していません。

### 付属ソフトウェア製品のインストール

付属CD-ROMをホストマシンのCD-ROMドライブに挿入することにより、インストール用のウィンドウが開きます。ダイアログボックスのメニューに従って、インストールしてください。

インストール開始前に、ご使用のPC環境にてHigh-performance Embedded Workshop が起動していないことと、ルネサス製エミュレータが接続されていないことを確認してください。

※ ホストマシンのOSにWindows Vista®, Windows® XP、Windows® 7をご使用の場合、administratorの権限を持つユーザが実行する必要があります。administratorの権限を持たないユーザでは、インストールを完了することができませんので、ご注意下さい。

## Windows Vista®でエミュレータと通信できない場合

エミュレータをホストマシンに接続し、E100 エミュレータ電源投入後、デバイスマネージャでルネサス製 USB ドライバの[プロパティ]ダイアログボックス-[全般]ページを表示し、[デバイスの状態]欄をご確認ください。「このデバイスは正常に動作しています。」以外が表示されている場合は、USB ドライバを手動で、下記手順に従いインストールしてください。

1. 付属 CD-ROM の“ドライブ名:¥e100\_m16c¥drivers¥2000\_XP\_Vista¥32bit¥dpinst.exe”をダブルクリックし、dpinst.exe を実行してください。
2. [ユーザアカウント制御]ダイアログボックスが表示され、「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」「発行元がわかっている場合や以前使用したことがある場合を除き、このプログラムは実行しないでください。」と表示されますが、[許可]をクリックしてください。  
※dpinst.exe は Microsoft が提供するドライバパッケージインストーラユーティリティです。
3. [Device Driver Installation Wizard]が表示されますので[次へ]ボタンをクリックしてください。
4. 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」と表示されますので、[インストール]ボタンをクリックしてください。
5. [Device Driver Installation Wizard]で[完了]ボタンをクリックしてください。

## 付属ソフトウェア製品ご使用上の注意

付属ソフトウェア製品インストール時にインストールされるリリースノートを使用前にご一読ください。

※ 付属ソフトウェア製品のマニュアル・リリースノートは、電子マニュアルとして提供しています。電子マニュアルは、アドビシステムズ社のWebサイト (<http://www.adobe.com/jp>) から Adobe Reader をダウンロードしてご参照ください。

Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

## 対応 MCU グループ

ROE521300MCU00は以下の変換基板との組合せでR8C/3xシリーズの各グループに対応します。

変換基板名	対応MCUグループ
ROE53038ACFK30 (PLQP0080KB-A)	: R8C/38A, 38C, 38E, 38F, 38G, 38H, 38M, 38W, 38X, 38Y, 38Zグループ
ROE53036ACFK40 (PLQP0064KB-A)	: R8C/36A, 36C, 36E, 36F, 36G, 36H, 36M, 36W, 36X, 36Y, 36Zグループ
ROE53036ACFG40 (PLQP0064GA-A)	: R8C/36A, 36C, 36Mグループ
ROE53035ACFJ50 (PLQP0052JA-A)	: R8C/35A, 35C, 35D, 35Mグループ
ROE53034ACFK60 (PLQP0048KB-A)	: R8C/34C, 34Mグループ
ROE53034ECFK60 (PLQP0048KB-A)	: R8C/34E, 34F, 34G, 34H, 34P, 34R, 34W, 34X, 34Y, 34Zグループ
ROE53033ACFG90 (PLQP0032GB-A)	: R8C/33A, 33C, 33D, 33Mグループ
ROE53033GCF90 (PLQP0032GB-A)	: R8C/33G, 33Hグループ
ROE53032ACSJCO (PLSP0020JB-A)	: R8C/32A, 32C, 32D, 32Mグループ
ROE53032GCSJCO (PLSP0020JB-A)	: R8C/32G, 32Hグループ

対応MCUグループの最新情報に関しては、以下のURLから確認ください。

<http://japan.renesas.com/e100/r0e521300mcu00>

## 製品についてのお問い合わせは

ROE521300MCU00エミュレータハードウェアおよびエミュレータデバッグの技術的な内容に関するお問い合わせは、以下URLの「技術サポート連絡書」に必要事項を記入の上、コンタクトセンタcsc@renesas.comまで送信ください。

[技術サポート連絡書]  
<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/registration/support.txt>

## 制限事項 (シリアルナンバ末尾が“B”以前の製品)

本製品でタイマRDのカウントソースにf0C040Mを選択した場合、TRDGRD0レジスタをTRDGRB0レジスタのバッファレジスタとして使用できません。各機能、モード毎に以下の回避策を実施してください。

- (1) アウトプットコンペア機能
  - ・ f0C040M以外のカウントソースを選択して使用ください。
  - ・ カウントソースにf0C040Mを選択した場合、TRDGRD0レジスタをTRDGRB0レジスタのバッファレジスタとして使用しないでください。
- (2) PWMモード
  - ・ f0C040M以外のカウントソースを選択して使用ください。
  - ・ カウントソースにf0C040Mを選択した場合、TRDGRD0レジスタをTRDGRB0レジスタのバッファレジスタとして使用しないでください。
- (3) リセット同期PWMモード
  - ・ f0C040M以外のカウントソースを選択して使用ください。
  - ・ カウントソースにf0C040Mを選択した場合、TRDGRD0レジスタをTRDGRB0レジスタのバッファレジスタとして使用しないでください。
- (4) 相補PWMモード
  - ・ f0C040M以外のカウントソースを選択して使用ください。
- (5) PWM3モード
  - ・ f0C040M以外のカウントソースを選択して使用ください。
  - ・ カウントソースにf0C040Mを選択した場合、TRDGRD0レジスタをTRDGRB0レジスタのバッファレジスタとして使用しないでください。

## ご使用上の注意事項

本製品をご使用になる前に、必ずユーザーズマニュアルに目を通してください。

- (1) A/D 変換条件選択ビット (ADSTCS) に関して  
本製品では、A/D入力選択レジスタ (ADINSEL:00D5h番地)のA/D変換条件選択ビット (ADSTCS)の書き込み値に関係なく、ADSTCS=“0”と同じ動作(フラッシュメモリのプログラム/イレーズ中にA/D変換する)になります。
- (2) アドレス一致割り込み1許可ビットに関して  
本製品とR8C/35D、R8C/33D、R8C/32Dグループは、アドレス一致割り込み1許可ビットの配置が異なります。  
本製品: 01C7h番地のビット0  
R8C/3xD: 01C3h番地のビット1  
アドレス一致割り込み1をご使用の場合、アドレス一致割り込み1許可ビットの配置に注意してください。なお、アドレス一致割り込み0許可ビットに関しては、本製品、R8C/3xDとも同じ配置(01C3h番地のビット0)です。
- (3) フラッシュレディステータス割り込みに関して  
本製品ではロックビットコマンド実行後にフラッシュレディステータス割り込みを発生させる場合、FMR13ビットを“1”(無効)にする必要があります。  
実際のMCUでは、FMR13ビットの状態に関係なく、ロックビットコマンド実行後にフラッシュレディステータス割り込みが発生します。

以上